



しあわせ ばとんた ゆみなく

発行

しばた正彦後援会
〒820-0602
九郎丸661-12
Tel 080-
4316-2581

セミが鳴いています。空には入道雲が。暑い日が続いています。熱中症にお気を付けください。

産業廃棄物（産廃）施設がどうなっているのか、よく尋ねられます。これまでの経過、6月議会での一般質問について報告します

えっ、産廃がくるんじゅー

昨年（2023年）の1月、井上町長が新年あいさつで、大将陣公園横の森で環境調査が行われると言われました。文教厚生委員会の中で、原中議員と大塚議員が「町長がわざわざそんな話をするということは、何か特別なものがくるのでは」と不思議がられていました。

そして、昨年5月、飯塚市に住む友人から、産廃施設を大将陣公園横につくる計画があることを聞きまし

た。友人の住んでいる地域の自治会長に、業者が産廃施設をつくりたいと話してきたそうです。文教厚生委員会で、その話をすると、桂川町の何人かの区長宅にも業者が説明に来ているということがわかりました。



業者が持ってきた資料には、次のことが書かれていました。

1. 業者
 - ・福岡金属興行株式会社
 - ・所在地：直方市中泉

2. 事業概要

・主に感染性医療廃棄物を対象とした九州最大級の中間処理（焼却）施設↓減量化

・対象廃棄物を安全に処理し、CO2の発生を最小限に抑制

・廃棄物発電施設併設（廃棄物焼却による余熱利用）

3. 建設予定地

・桂川町大字吉隈字内浦870番ほか

4. 処理能力

・1日24時間あたり95トン

5. 処理する産業廃棄物の種類

・汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、紙くず、木くず、繊維くず、動物系固形不要物、動植物性残さ、動物のふん尿、動物の死体、感染性廃棄物

6. 環境影響区域内自治区

・桂川町（土居一・土居二）

吉隈一・吉隈二・吉隈三・瀬戸・寿命・天道）
・飯塚市（天道・樂市・樂市東・平恒・平恒原口・平恒中野・大陣・太郎丸一）

「じゃ、おおいじやうー」

文教厚生委員会で話し合い、産廃施設建設が予定されていることを住民のみなさんに伝えるため、一般質問でとりあげ続けてきました。

また、昨年12月7日議員全員で「大将陣公園横の感染性廃棄物などの産業廃棄物処理事業に関する調査特別委員会」を設立し、学習や情報の交流に努めてきました。



業者の当初スケジュールでは、今年の4月に公的な説明会をする予定でした。ところが、県の指摘で風向きを調べるようになったようで、現在、大将陣山頂に風向計が設置してあります。昨年12月から調査を始めていますので、11月には調査が終わるでしょう。



6月議会の一般質問では、吉川議員・大塚議員・柴田の3人が産廃問題に対する町の姿勢などをたずねました。8月発行の『議会だより』にも書きましたので、あわせてお読みください。

《柴田の一般質問から》



柴田：大将陣公園横に計画されている産業廃棄物処理施設の現状はどのようになっていますか。

建設事業課長：水路の付け替え要望については、福岡金属興業より、付け替え水路の手続きの問い合わせを受けているところですが、地元関係者の同意を必要とする指導を求め続けたところ、町長の行政報告にもありましたとおり、福岡金属興業から行政指導に従う意思がない旨の通知、並びに当該事業関係届出受託のお願い、これを受けたところ

です。これに対し、町としては、利害関係人の理解がないま

ま、既設の水路の付け替え手続きを行うことはできない、この旨を相手側に伝えたいところです。

柴田：行政の指導に従わんとか、とんでもない話だと思えます。地元の会社やつたら、こうはしないんでしょうけどね。

*建設予定地に桂川町の水路があるために、この水路を付け替えさせてほしいと業者が言っているのです。水路を変え、敷地を有効活用するためだと思われ

柴田：桂川町の住民のみならず、さんがとりくまれていることを教えてください。

町長：計画予定地の周辺の8行政区の有志の方で反対の署名運動が行われております。

『6月中には、その署名運動がまとまって、7月には町のほうに提出したい』と

いう申し出を受けているところです。

*7月19日に、提出されました。

柴田：町内に産廃施設ができることが発覚して、ずいぶんたちます。井上町長もこの間、いろいろと勉強されてたことでしょうか。認識も変わってきたことだろうと、推察します。

今、町内に産廃施設ができることを、どのように思われているのか教えてください。

町長：現在、計画されているこの産廃廃棄物施設、この建設には絶対反対であるという、そういう認識を持っていますし、また意思を表明したと思っております。

*井上町長は、県知事・担当の環境部長に現状を説明し、町としては反対であるということを行い、県議会議長に、桂川の町長名で嘆願書を直接手渡した、とも述べられました。

柴田：原中議員が3月議会で、次のように言われました。

「弁護士を含んで専門家のチームを編成し、職員が相談できる体制、安心して行政的な仕事ができる体制を町長にぜひお願いしたいと思うんですけど」

それに対して、井上町長は、

「御指摘の点は、同感であります。難しい課題も含んでいるとは思いますが、私自身も専門家の知恵を借りないことには対応はなかなか難しいと考えています」と答えられました。

質問です。弁護士が必要だと言われましたが、どうされますか。

町長：行政法に詳しい弁護士の方と顧問契約を結んだところ

柴田：原中議員は弁護士や知識人チームの必要性を言われました。この点は、ど

うお考えですか。

町長：そのときの課題の内容によって、その分野に詳しい方を講師にお呼びして勉強会を開く、そういったことが考えられるんじゃないかなど思っているところ



柴田：桂川町では、議会が「住民の健康と福祉をまもり、住民の声を政治に活かすため、住民の同意のない限り、産業廃棄物焼却施設の建設に反対します」と意見書を県に送りました。

また、産廃施設の近隣8区の区長さんは勉強会を続け、産廃施設の問題点を明らかにし、それぞれの区で反対の署名を集められています。

町も、弁護士を雇い、県のほうにも働きかけられています。

桂川町では、町民・議会・町が一体となって動くこととする状況にあります。

気になるのは、飯塚市です。動きが見えない。

確かに産廃施設の建設予定地は桂川町にあります。しかし、あの場所は、子どもが遊ぶ大陣公園のすぐ横で、飯塚市が計画しているグラウンドゴルフ場のすぐ近くでとなれば、飯塚の問題でもある。

だから、亡くなった片峰市長は「ここに産廃施設がつくられることは、ゆゆしき問題だ」と言われました。井上町長にお尋ねします。今の武井政一飯塚市長とは、産廃施設の問題について、

具体的に突っ込んだ話をされていますか。

町長：この件については、特別に時間を設けて、現状と町の考え方、そういったことについてお話をし、今後、お互いに連携をしてとりくんでいきたいと思います。その確認はしております。

ただ、最近の状況では、このことについて改めて協議をしたというところはございません。

柴田：桂川の場合、新しい段階に入りつつあると思っていますので、ぜひ、そこも話していただいて、飯塚と一緒にやれるような体制をつくってほしい。

町長：こういった状況につきましては、状況がどんどん変化していくと思われまので、その状況を注視しながら、適切に対応したいと思えます。

柴田：担当課長にお尋ねします。飯塚市の担当者とのような話をされているのでしょうか。
保健環境課長：現在は、特



議員の仕事

先日、地方議員が参加するオンライン学習会がありました。その中で、問題提起をされたある市議会の議長が、議員の仕事として、次の3点をあげられました。
1. 効果的なお金の使い方

2. 市(町)の仕事をチェックする
3. 市(町)のきまりをつくる

現在、桂川の中学生在が使っている「公民」の教科書には、「地方自治の仕組み」地方議会」の中で次のように説明されています。

地方議員は、住民のさまざまな意見を政治に生かす活動をしています。地方議会は、地方公共団体の独自の法である条例を定めたり、地方公共団体の予算を議決したりといった仕事を担当します。

また、地方議会の活性化として、次のような例が書かれています。

地方議会での論議を活発にし、住民により身近な存在にするために、議会基本条例を定めるなど議会改革に取り組む地方公共団体が増えています。北海

道芽室町では、会議をインターネットで公開したり、高校生をふくむ町民との意見交換会を開いたうえで町に政策提言する仕組みを作り、大学が調査する議会改革度ランキングで2014年から5年連続で全国1位になりました。(2019年現在)

近隣にも芽室(めむろ)町のように、町民から意見を聞く機会をつくったり、議員間討議を行ったりしている議会がたくさんあります。桂川町議会も変わっていくことが必要です。

新しい議員を、議員が変われば議会が変わる。議会が変われば町が変わる。

町議会議員の任期は4年です。11月で任期の半分が終わります。次の選挙まで2年間です。

教科書にも書かれているように、地方議会は住民の生

活に密接に関わっています。それだけに、議員の仕事は重要なものになります。

桂川町の議員は、私のような高齢者が多く、男性が多い。もちろん、若ければいい、女性ならばいい、というのではありませんが、あまりにも偏(かたよ)っています。

若い方や女性の意見が必要です。

ぜひ、2年後、立候補してください。

お金は、あまりかかりません。1期目のときの私の選挙費用は10万円以下でした。

年に4回の定例会(3月・6月・9月・12月)は、けっこう大変です。しかし、毎日仕事をしているわけではありません。ほかの仕事をしなから議員をしている方もいます。

給料は、ひと月24万5千円。ボーナスが43万円と44万円、1年間に381万円です。

立候補していただけるならば、私のもっているノウハウは全てお伝えします。桂川町を住みやすくするために、立候補していただませんか。



じんけん 人KENあゆみちゃん

今回の『後援会だより』は新聞に入れてあります。産廃のこともあって、配る時間と体力が不足しているからです。

産廃問題は、これからが正念場だと思われれます。ご協力、お願いいたします。

HPもごらん下さい。「桂川町議会議員 しばた正彦」と入れれば出てきます。QRコードからも入れます。



あっち こっち どっち?

8月	1日	文教厚生委員会	* 1
	19日	委員長・副委員長研修会	
	20日	子ども・子育て会議	
	21日	調査特別委員会	* 2
	21日	文教厚生委員会	
	23日	文教厚生委員会	
	27日	議会運営委員会	* 3
	29日	議員研修会	

※2 大陣陣公園横の感染性廃棄物などの産業廃棄物処理事業に関する調査特別委員会

※3 9月定例会について協議します。

後援会員募集

年会費1,000円

後援会員のみなさんには、ひと月1回以上『しあわせばとん』をお届けしています。『しあわせばとん』には、『後援会だより』には書きにくい趣味や日々のこと、本音などを書いています。申し込みは柴田まで

080・4316・2581

※1 桂川町議会は二つの常任委員会があります。
総務経済建設委員会：竹本・北原・青柳・下川・杉村
文教厚生委員会：柴田・大塚・原中・林・吉川
(敬称略)

さらに、議会広報委員会、議会運営委員会・特別委員会があります。